

第12卷 第1号 (通巻第21号) 2023年7月発行 ISSN 2187-0292

埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 12, Number 1

2023

特集

第14回 埼玉アクセス研究会 学術集会
プログラム・抄録集

第50回 埼玉透析医学会 PROCEEDINGS-2022



埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 12, Number 1

2023

特集

第14回 埼玉アクセス研究会 学術集会
プログラム・抄録集
第50回 埼玉透析医学会 PROCEEDINGS-2022

埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

INDEX

巻 頭 言	1
-------------	---

第14回埼玉アクセス研究会 学術集会 プログラム・抄録集

会場案内図・会場見取図	5
参加者へのご案内とお願い	6
発表論文原稿執筆要項について	9
プログラム	11
抄 録	
特別講演	16
ランチョンシンポジウム(医師部門)	18
コ・メディカルシンポジウム	24
一般演題	30
世話人会一覧	32
協賛企業一覧	33

第50回埼玉透析医学会学術集会 PROCEEDINGS-2022

proceedings 目次	37
より良い腎代替療法選択を目指して	39
一般演題	52

第13回埼玉アクセス研究会 PROCEEDINGS-2022

SIX SENSE of VA 戦士の流儀	89
学術集会開催記録	95
2023年施設名簿	96
埼玉透析医学会会則	98
埼玉透析医学会 役員	100

次回開催のご案内

第51回 埼玉透析医学会学術集会・総会

会 期：2023年12月3日（日）

会 場：大宮ソニックシティーホール 4F 国際会議室
〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5
TEL：048-647-4111

大 会 長：長谷 元（埼玉医科大学病院総合医療センター
腎・高血圧内科教授）

会 長：岡田 浩一（埼玉医科大学病院 腎臓内科教授）

演題申し込み方法：オンラインによる演題受付とします。
詳細は後日アップされる埼玉透析医学会
HPをご覧ください。

募集期間：2023年8月1日 ～ 9月30日

事 務 局：埼玉医科大学病院 腎臓内科
代表 友利 浩司
〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
TEL：049-276-1611
FAX：049-295-7338
E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

巻 頭 言

透析医療における missing piece



埼玉透析医学会 会長

岡田 浩一

COVID-19感染が第5類に格下げとなり、マスク着用義務からも解放され、ようやく以前の日常が戻りつつあります。このコロナ禍の3年間、様々な社会の変革を目にしてきましたが、我々の専門領域である腎代替療法に関してもいくつかの変化がありました。

まず削られる一方(被害妄想でしょうか?)であった診療報酬に関して、透析施行中のリハビリテーションに対して、透析時運動指導等加算が昨年より新たに算定できるようになりました。算定要件の概要がいま一つ分かりにくいこともあって、どのご施設とも手探り状態で取り組みかけているところかと思います。ただ本年3月18～19日におおみや市で開催されました第13回腎臓リハビリテーション学会学術集会(大会長は本会の幹事のお一人である中元秀友先生)では、予想をはるかに上回る1,500人に迫る参加者があり、この大盛況が腎臓リハビリテーションについての関心の深さを象徴していると思います。

また腎代替療法として、血液透析、腹膜透析、腎移植に次ぐ第4の選択肢としての保存的腎臓療法(CKM)に関する、我が国初のガイドが昨年発表され、多くの関連学会におけるシンポジウムや研究会でCKMがテーマとして取り上げられています。保存的腎臓療法はCKM(conservative kidney management)の日本語訳で、透析療法や腎移植を行わない末期腎不全の管理を意味します。この日本語訳に際して関係者で相談し、managementを「管理」と直訳せず、「療法」という積極的な治療の意味を含むよう意識したのは、尿毒素のレベルを下げることはできませんが、緩和ケアの導入も含めて最後まで腎不全患者に向き合いますという我々の意思表示でした。

腎臓リハビリテーションもCKMも純粋な透析療法ではありませんが、世界に冠する技術レベルを誇る日本の透析医療がこれまで提供できなかったmissing pieceを補完する医療と言えるかもしれません。ただどちらもまだその端緒についたばかりで、腎不全患者への運動処方もCKMも標準化されておらず、また何を目標とするのかも実は明確ではありません。埼玉透析医学会としましては、個々の会員の経験を結集させて、何らかの指針に結び付けていければと考えております。ぜひご協力をお願いいたします。

2023年7月吉日

14th Saitama Society For
Dialysis Access

Abstract 2023

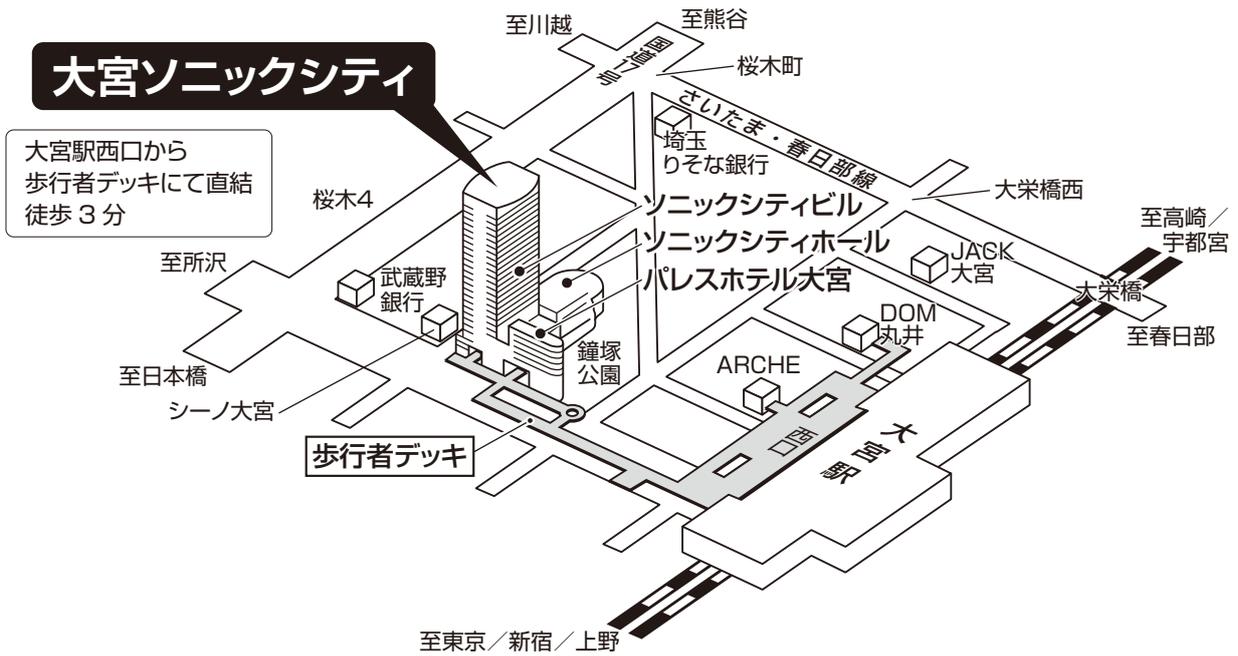
第14回埼玉アクセス研究会学術集会

- 会 長：中川 芳彦 (関越病院)
- 副会長：四宮 敏彦 (大宮中央総合病院)
- 日 時：2023年7月30日(日)
- 会 場：大宮ソニックシティ 市民ホール
- 開催形式：オンライン hybrid 形式

共催：埼玉透析医学会

事務局：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981番地
埼玉医科大学総合医療センター 血液浄化センター
TEL：049-228-3523 / FAX：049-226-6822
E-mail：info@saitama-va.net

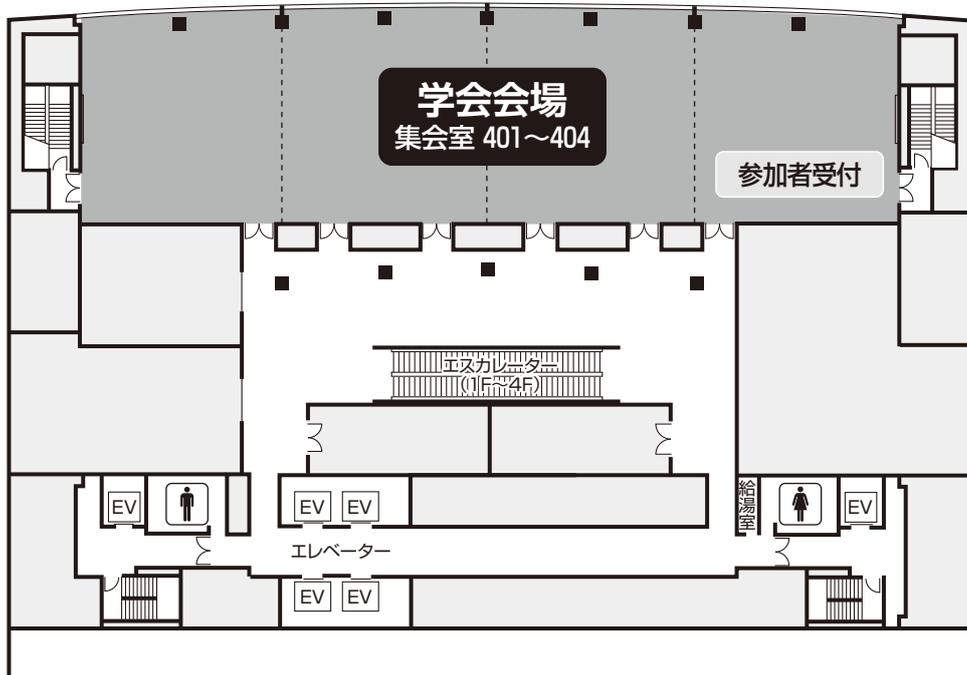
会場案内図



お問い合わせ
財団法人埼玉県産業文化センター（大宮ソニックシティ）
〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5
ソニックシティビル5階 埼玉県産業文化センター
TEL：048-647-4111 TEL：048-647-4159

会場見取図

(大宮ソニックシティ 4F 市民ホール)



参加者へのご案内とお願い

■参加者の皆様へ

1. 会 期 2023年7月30日(日)
2. 会 場 大宮ソニック市民ホール(ソニックシティービル4F)
(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)
3. 開場・受付開始時間 9時～
4. 開演時間 9時20分
5. 参加費 1,000円
6. 第14回埼玉アクセス研究会では、『現地参加』と『WEB参加』がございます。
7. 一般演題の中から厳正な審査を行い、BestPresentation に対して表彰を行います。
8. 5学会合同認定“透析療法指導看護師”の受験資格ポイント取得対象会として認定されています。

■WEB参加の皆様へ

1. 視聴にはWeb会議システム Zoom を利用します。初めて Zoom を使う方は事前に Zoom アプリのダウンロードをお願いします。
2. Zoom 公式サイト URL にアクセスし、「ミーティング用 Zoom クライアント」からアプリをダウンロードしてください。
3. セッションの動画や写真の撮影、Zoom URL や ID などの無断転載は禁止いたします。
4. 質問をする場合は、「Q & A」機能を使用してください。
5. 時間の都合上、全ての方のご質問をお受けできない場合がございます。予めご了承ください。

■現地参加の皆様へ

1. 発言される際はマイクを使用し、最初に所属と氏名を明らかにしてください。限られた時間内に討論ができるように、予めマイクの前にお並びください。
2. 携帯電話のご使用はロビーとし、会場内ではマナーモードの設定をお願いします。
3. クローク、貴重品のお預かりはできませんのでご了承ください。
4. 会場内の喫煙は禁止されておりますのでご了承ください。

■埼玉透析医学会の役員、埼玉アクセス研究会世話人、司会・座長の先生方へ

演題の審査表を受付にてお受け取りください。審査後は受付へのご提出をお願いします。

■ 司会・座長・コメンテーターの先生方へ

1. ご担当セッションの開始予定時間20分前までには総合案内にて参加受付をお済ませください。
2. 第14回埼玉アクセス研究会では、『現地参加』と『WEB参加』がございますが、司会・座長・コメンテーターの方は原則現地参加でお願い致します。
3. セッション開始15分前には、会場担当者へ到着のご連絡を頂き次司会・次座長席へご着席ください。
4. 限られた時間内で発表が円滑に進むよう、質問・討論を希望される参加者がいる場合は、司会者が指名し質問・討論が速やかに行われるようご指示ください。
5. Zoomからの質問に関しては、発表毎にZoomのチャットを確認して、質問があった際は座長の先生から紹介してください。

■ 演者の先生方へ

1. 一般演題は発表7分、討論3分とさせていただきます。
2. 第14回埼玉アクセス研究会では、『現地参加』と『WEB参加』がございますが、発表者は原則現地参加でお願い致します。
3. セッション開始15分前までに次演者席にお着きください。
4. 発表方法はデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)のみとします。発表時間30分前までにUSBのメディアを持参し、PC受付でご確認ください。なおメディアはUSBフラッシュメモリに限ります。それ以外のメディアはご遠慮ください。
5. 動画をご使用になる場合はご自身のPC本体のご持参を推奨いたします。Macintoshをご使用の場合は、PC本体を必ずご持参ください。
6. ご自身のPCをご使用になる場合、本体をWiFiに接続して、Zoomよりご発表いただきます。WiFi、Zoomが使用可能なPCをご持参ください。また、ACアダプターを必ずご持参ください。バッテリーでの使用はトラブルの原因になります。
7. プレゼンテーションはwindows PowerPoint(データ作成のアプリケーションソフトはWindows PowerPoint2010/2013/2016/2019のバージョンが使用できます。)での作成に限らせていただきます。(MacのKeynoteでスライドを作成した場合は、スライドが正しく表示されない可能性があります)
8. フォントはOS標準で装備されているものを使用してください。一部office365のみで使える特殊なアニメーションはご使用できません。PC受付にて動作確認をお願い致します。
9. Windows PowerPointにて作成したスライドは、スライドのサイズ設定を(16:9)に設定してください。
10. スライドの枚数制限はありませんが、発表時間を厳守してください。
11. 埼玉透析医学会記録集に掲載する原稿を9月16日(土)までに埼玉透析医学会事務局へご提出ください。

12. 当日の発表時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。
13. 閉会挨拶時に BestPresentation の表彰を行いますので、ご参加をお願いいたします。
14. サーバーにコピーさせていただいたデータは、本会終了後に責任を持って完全に消去いたします。

■発表につきまして

演台にセットされているキーボード、マウスをご使用ください。会場では、演者ご自身で演台上の機材を操作していただきます。お預かりしたデータの1枚目のページをオペレーターが出しますので2枚目からはご自身で送り・戻しの操作をお願いいたします。
 また、円滑な進行の妨げとなるため、発表者ツールの使用はお断りさせていただいております。

「利益相反自己申告に関するスライド例」

申告すべきCOI状態がない場合	申告すべきCOI状態がある場合																				
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">第14回埼玉アクセス研究会</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">COI開示</p> <p style="margin: 0;">筆頭発表者名: 〇〇 〇〇</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">第14回埼玉アクセス研究会</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">COI開示</p> <p style="margin: 0;">筆頭発表者名: 〇〇 〇〇</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>① 顧問:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> <tr><td>② 株保有・利益:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> <tr><td>③ 特許権使用料:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> <tr><td>④ 講演料:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> <tr><td>⑤ 原稿料:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> <tr><td>⑥ 受託研究・共同研究費:</td><td style="text-align: right;">〇〇 製薬</td></tr> <tr><td>⑦ 奨学金等:</td><td style="text-align: right;">〇〇 製薬</td></tr> <tr><td>⑧ 寄附講座所属:</td><td style="text-align: right;">あり(〇〇 製薬)</td></tr> <tr><td>⑨ 企業所属研究者:</td><td style="text-align: right;">あり(〇〇 製薬)</td></tr> <tr><td>⑩ 贈答品などの報酬:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> </table> </div>	① 顧問:	なし	② 株保有・利益:	なし	③ 特許権使用料:	なし	④ 講演料:	なし	⑤ 原稿料:	なし	⑥ 受託研究・共同研究費:	〇〇 製薬	⑦ 奨学金等:	〇〇 製薬	⑧ 寄附講座所属:	あり(〇〇 製薬)	⑨ 企業所属研究者:	あり(〇〇 製薬)	⑩ 贈答品などの報酬:	なし
① 顧問:	なし																				
② 株保有・利益:	なし																				
③ 特許権使用料:	なし																				
④ 講演料:	なし																				
⑤ 原稿料:	なし																				
⑥ 受託研究・共同研究費:	〇〇 製薬																				
⑦ 奨学金等:	〇〇 製薬																				
⑧ 寄附講座所属:	あり(〇〇 製薬)																				
⑨ 企業所属研究者:	あり(〇〇 製薬)																				
⑩ 贈答品などの報酬:	なし																				

発表論文原稿執筆要項について

本学術大会でご発表された内容は、埼玉透析医学会会誌(第12巻2号)掲載用の論文として収載して頂くをお願いしております。下記の会誌投稿に関する内規に承諾していただき、発表スライドの当日受付で提出、もしくは令和5年9月16日(土)までに下記送付先までE-mailまたはCDで提出をお願いいたします。

特別講演・企業セミナー

ご担当頂いた講演について総説としてご執筆賜りたくお願い致します。

シンポジウム・一般演題

ご発表頂いた演題について発表論文としてご投稿下さいますようお願い致します。

会誌投稿に関する内規

埼玉透析医学会(以下「当会」という)は、「当会」が発刊する「会誌」への投稿に関し、以下のとおり定める。

1. 投稿の種類

「当会」が発刊する「会誌」への投稿は、①埼玉透析医学会および埼玉アクセス研究会の学術集会で発表されたものから、発表論文として論文集に掲載するために投稿するものと、②会誌編集委員会の企画により、投稿を依頼されたものとする。なお、論文は透析医療に関するもの、会員に対し有益な内容で、他誌に発表されていないもの(抄録を除く)あるいは投稿中でないものに限るものとする。また、個人情報保護の観点から容易に個人が特定されないように十分に配慮しなければならない。利益相反がある場合は記載すること。

2. 投稿資格

論文の筆頭著者は原則として「埼玉透析医学会の施設会員」とする。

3. 原稿の作成

- 1) 原則としてパーソナルコンピュータを使用し、文字のみの本文を Word または Text のファイル形式で作成する。
- 2) 文字数は図表を含めず総説は8,000字程度、発表論文は4,000字程度を目安に作成し、本文には頁をつける。
- 3) ①図表は Word、Excel、Power Point、JPEG、GIF で作成する(写真などは鮮明なものを使用する)。
②掲載は原則的に白黒印刷であるため、カラーで提出される場合は印刷時のコントラストに配慮する。
③図表は本文とは別のファイルを用意し、図表の下に番号を記し、本文中に挿入位置を明示する。
※他誌書から図表を転載利用する場合(自筆も同様)は、著作者ならびに出版元の許諾が必要となる。

- 4) 文献は主要なもののみ10点以内とし、文中の引用箇所には、半角上付で引用順に1), 2) 3~5)のように記載し、著者4名以上の場合は“…, 他 ”“…”, et al”とする。
- ①雑誌の場合 著者名：論文名. 雑誌名 巻：頁(初め-終わり), 西暦年
 - ②書籍の場合 著者名：論文名. 書籍名(編者名), 頁(初め-終わり), 出版社名, 所在地, 西暦年
 - ③誌名を略記する場合 出版雑誌の定める略名を使用し、また外国のものはIndex Medicusの略称に準じる。
 - ④「孫引き」を避け、必ず原典にさかのぼって出処を明示する。

4. 論文の体裁

表題頁、本文、文献、図表の順にまとめる。

- 1) 表題頁には①題名、②著者および共同著者(全員フリガナを明記)、③所属施設名、④連絡先(筆頭者の所属郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス)を記載する。
- 2) 本文はⅠ. 緒言(はじめに、まえがき)、Ⅱ. 研究方法(対象、症例、方法)、Ⅲ. 研究結果(結果)、Ⅳ. 考察、Ⅴ. 結論(結語、まとめ、おわりに)の順序で記述する。

5. 著作権

学会誌の掲載内容(インターネット上で公開する電子媒体を含む)の著作権は、「当会」が保有するものとする。また投稿者は、投稿内容が受理され学会誌に掲載された場合、学会誌掲載内容がインターネット上で公開されることについて了解しているものとし、これによる使用料は「当会」に帰属するものとする。

6. 校 正

会誌出版社の編集後、著者校正を依頼する。

7. 原稿締切

令和5年9月16日(土)必着とする。

8. 原稿の送付先

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
埼玉医科大学病院 腎臓内科
埼玉透析医学会事務局 宛
TEL : 049-276-1611 FAX : 049-295-7338
URL : <http://www.ssdt.jp> E-mail : jinnai@saitama-med.ac.jp

※原則として送付いただいたメディアは返却いたしませんのでご了承ください。

第14回埼玉アクセス研究会学術集会(共催：埼玉透析医学会) プログラム

2023年7月30日(日)

受付：9時00分～

場所：大宮ソニックシティ 市民ホール(401・402・403・404)

開会の挨拶 9:20～9:30

埼玉透析医学会 会長 岡田 浩一

埼玉アクセス研究会 会長 中川 芳彦

企業共催セミナー I : ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 9:30～9:55

座長：水口 斉(防衛医科大学校病院)

『New Device 時代の標準的VAIVT ～疼痛緩和の取り組みも含めて～』

演者：清水 泰輔(埼玉医科大学総合医療センター)

一般演題 9:55～10:35

座長：近藤 立雄(埼玉医科大学病院)

下山 博史(友愛日進クリニック)

- O-1 薬剤溶出性バルーン(drug-coated balloon: DCB)を用いたPTAの経験
関越腎クリニック 村上 徹 他
- O-2 圧迫止血不可能のシャント静脈後壁穿孔の仮性留に対して
バイアバーンステントグラフトを用いて治療した症例
蓮田一心会病院 河合 勇樹 他
- O-3 内シャント穿刺部の切迫破裂と判定して緊急手術をおこなった症例の検討
関越病院 中川 芳彦 他
- O-4 腎代替療法選択が必要な人のからだ・こころ・社会への影響
防衛医科大学校病院 高津 咲恵子

企業共催セミナーⅡ : 日本メドトロニック株式会社 10:45～11:10

座長：清水 泰輔（埼玉医科大学総合医療センター）

演者：清澄 理恵（さやま腎クリニック）

企業共催セミナーⅢ : カネカメディックス株式会社 11:10～11:35

座長：志熊 聡美（秀和総合病院）

演者：安部 望（くぼじまクリニック）

ランチョンシンポジウム（医師部門） 11:50～13:20

座長：中川 芳彦（関越病院）
四宮 敏彦（大宮中央総合病院）

S1-1 内シャント作製による腎機能の変化に関する検討

上尾中央総合病院 大野 大

S1-2 表在化した上腕動脈の使用期間を延長するための様々な外科的処置の試み

関越病院 中川 芳彦 他

S1-3 VA 関連手術に伴う合併症を経験して

埼玉草加病院 佐伯 直純

S1-4 実験から見た人工血管の選択、適正使用法

大宮中央総合病院 四宮 敏彦

S1-5 内シャント血栓閉塞に対するハイブリッド血栓除去術の治療成績

さくら記念病院 黒澤 明

特別講演 13:30～14:10

（共催：協和キリン株式会社）

座長：中川 芳彦（関越病院）

演者：山田 裕一（高坂醫院）

企業共催セミナーⅣ : 日本ゴア合同会社 14:15～14:40

座長：小川 智也(埼玉医科大学総合医療センター)

『経験から学んだこと：ゴア® バイアバーン® スtentグラフトによる新たな時代』

演者：黒澤 明(さくら記念病院)

企業共催セミナーⅤ : テルモ株式会社 14:40～15:05

座長：友利 浩司(埼玉医科大学病院)

『エコー下穿刺における手技の基本と当院の実践について』

演者：田口 光洋(羽生総合病院)

コ・メディカルシンポジウム 15:10～16:30

『穿刺困難症例から学ぶ、穿刺技術と教育』

座長：平原 浩(南古谷クリニック)
猪本 由紀(関越病院)

S2-1 看護師のエコー下穿刺技術習得の教育体制と今後の課題

さやま腎クリニック 齊藤 直美

S2-2 返血側穿刺困難例に学ぶエコーガイド下穿刺技術

秀和透析クリニック 玉内 弘美 他

S2-3 穿刺困難症例から学ぶ、穿刺技術と教育

埼玉医科大学国際医療センター 葉 秀寿 他

S2-4 当院におけるボタンホール穿刺の取り組み

鶴瀬腎クリニック 小島 優和 他

表彰式・閉会式 16:30～16:40

表彰式 埼玉アクセス研究会 会長 中川 芳彦

閉会式 埼玉アクセス研究会 副会長 四宮 敏彦

特別講演

ランチオンシンポジウム
(医師部門)

内シャント作製による腎機能の変化に関する検討

○大野 大(オオノ ダイ)

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院

【目的】 保存期慢性腎不全患者において内シャント作製が腎機能保護となることが報告されており、その要因にはいくつかの仮説が立てられている。この研究は内シャント作製手術前後で腎機能の変化に影響する要因を統計的に解明し、適切な内シャント作製時期の決定を助けることを目的とした。

【方法】 研究は、2017年6月から2021年12月までに当院で内シャント作製された29人の保存期慢性腎臓病患者を対象とした。対象者は手術後にeGFR低下速度が術前3ヶ月と比較して術後の方が小さく、かつ $5\text{ml}/\text{分}/1.73\text{m}^2/\text{年}$ 未満の患者7人を腎機能保持群、それ以外の22例を腎機能低下群とに分けられ、前向きに比較した。年齢、性別、原疾患、術後シャント肢上腕動脈血流量と抵抗係数、腎動脈血流量、シャント作製時のeGFRなどの因子を統計的に解析した。

【結果】 統計解析の結果、両群間で有意差が認められたのは、シャント作製時の尿中尿素窒素/クレアチニン比(UUN/UCr)のみであった($P=0.037$)。

【考察】 腎機能低下群のUUN/UCrは腎機能保持群に比べて有意に高かった。UUN/UCrは、生体内で分解された蛋白質量を反映するため、内シャント作製時の摂取蛋白質量や栄養状態が術後の腎機能低下に関与している可能性が示唆された。

今後の研究では、UUN/UCr以外の因子も含めた分析が必要であり、術前の十分な栄養状態、蛋白制限が術後の腎機能保持に影響する可能性が示唆された。

一般演題

O-1

薬剤溶出性バルーン (drug-coated balloon : DCB) を用いた PTA の経験

○村上 徹(ムラカミ トオル)¹⁾、中川 芳彦²⁾、松田 香²⁾

1) 社会医療法人社団 新都市医療研究会 [関越] 会
関越腎クリニック

2) 関越病院

バスキュラーアクセス (VA) 狭窄に対する治療は血管内治療 (PTA) が第一選択とされるが、狭窄再発率の高さが問題である。再狭窄の回避や病変進行の抑制などが模索されてきたが、2021年から透析 VA 狭窄に対しても、薬剤溶出性バルーン (drug-coated balloon : DCB) の使用が認可され、その効果に期待が寄せられている。本年より当院でも、再狭窄を頻回に繰り返す患者に対し、DCB (IN.PACT AV) を用いた PTA を開始した。これまで6例 (男4例、女2例、年齢: 平均74.5歳、透析歴: 平均3年11か月) に対して DCB を用いた PTA を施行した。DCB 使用前の PTA 施行回数は最少4回から最多で10回であった。有害事象等は認めず、治療後全例、開存し使用できている。観察期間が短く有効性について今後の追跡が必要であるが、適応・手技など含めその使用経験について報告する。

O-2

圧迫止血不可能のシャント静脈後壁穿孔の仮性留に対してバイアバーステントグラフトを用いて治療した症例

○河合 勇樹(カワイ ユウキ)¹⁾、久我 拓也¹⁾、小川 凌平¹⁾、村井 則之²⁾、正田 浩之²⁾

1) 蓮田一心会病院 臨床工学科

2) 蓮田一心会病院 VA センター

【目的】 シャント静脈後壁穿孔の仮性瘤に対してバイアバーステントグラフトを用いて治療した症例について報告する。

【背景】 透析患者の高齢化・透析歴の長期化は加速的に進行している状況である。VA の使用期間も当然長くなり、機能維持と修復は常に課題になる。そして修復に際してはより低侵襲であることが望まれる。

【症例】 71歳男性。慢性糸球体腎炎により2010年に透析導入。当院へ2017年に転院。2010年に大動脈弁置換術施行、以後ワーファリン内服している。

左前腕内シャントに対して現在まで3か月おきに PTA 施行。

2023年4月20日穿刺失敗により穿刺部腫脹が出現。4月22日、穿刺部をエコー検査し後壁に穿孔部分を有する仮性瘤を発見。エコープローブで圧迫したが仮性留内への血液流出は消失しなかった。

外科手術の適応も考慮されたが、侵襲の大きさ、ワーファリン服用による出血リスクを考慮し、バイアバーステントグラフト留置による治療を選択した。

穿孔部位末梢より6Fr シースを留置し、6mm×5cmのバイアバーステントグラフトを留置し穿孔部位を被覆することで出血コントロールされ手術終了となった。手術時間は30分であった。

【考察】 バイアバーステントグラフト留置部は穿刺が不可能になり、穿刺部位が限局される欠点があるが、手術に比べ出血量もほぼなく、短時間で治療ができ、入院の必要もないなどの利点がある。患者さんの状況によりバイアバーステントグラフトでの治療は選択肢になり得る。

編集後記(第12巻 第1号)

この会誌が皆様のお手元に届くころには梅雨も明け、真夏日の連続の日々をお過ごしのことと思います。COVID-19も5類に格下げとなり、数年ぶりの夏休みを満喫できる方もいるのではないのでしょうか？

家族や恋人、友人達と楽しく夏を満喫するのはもちろん大歓迎です。ですがその前に、7月30日(日)に大宮ソニック(市民ホール)にて開催される、第14回埼玉アクセス研究会学術集会へ職場の同僚の方々とご一緒にお立ち寄り頂ければ、更に清々しい気持ちで夏を満喫できるのではないかな！？と勝手ながら思っております。

また、12月3日(日)には同じく大宮ソニックシティ(国際会議室)にて埼玉透析医学会学術集会も開催予定となっております。こちらもウインターシーズンの楽しみを前に一度お立ち寄り頂ければ運営一同嬉しく思います。

今後とも、埼玉透析医学会・埼玉アクセス研究会へのご協力・ご参加の程、宜しくお願い申し上げます。

埼玉透析医学会 事務局
埼玉医科大学病院 臨床工学部

伊佐 慎太郎

埼玉透析医学会 会誌

発行日：2023年7月11日

発行：埼玉透析医学会

発行人：岡田 浩一

編集：埼玉透析医学会 事務局

事務局：埼玉医科大学病院 腎臓内科
〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
TEL：049-276-1611 FAX：049-295-7338
URL：http://www.ssdt.jp/
E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

編集責任者：友利 浩司

編集委員：伊佐 慎太郎、吉田 雅毅、鳴海 敏行、村杉 浩

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

定価：2,000円+税